



FMS便り

第2号

令和5年11月15日(水)

信州大学教育学部附属松本小学校

人権を大切にできる人とは？

～11月人権月間 副校長講話～

全校のみなさんおはようございます。11月は人権月間です。今週の参観日はどの学年も「人権」に関わった授業を行うことになっています。そこで、今日は「人権を大切にする」ということを話します。さっきから何度も言っている「人権」とは、どのようなものか知っていますか？様々な考え方がありますが「ひとりの人間として社会のルールの中で明るく楽しい生活を送る権利」というものです。もっと短い言葉で表してみると「自分らしく幸せに生きるための権利」となります。

でも、言葉の説明だけではよく分かりませんね。具体的な例を挙げるので、一緒に考えてみましょう。



この3つは、それぞれあってよいちがいでしょうか？あつてはいけないうちがいでしょうか？「ちがい」がよく分かっていなかったり許さなかったりすると、それが「いじめ」や「差別」につながってしまふことがあります。では、そうならないためには、どうしたらよいでしょう。

【がんばりをみとめる】



答えの一つは、他者の「がんばり」や「よさ」を認めていくということです。校長室前の廊下を掃除している6年生。ふと足下を見ると裸足です。「裸足の方が力が入って床がきれいになるから」だそうです。お掃除がんばっていますね。

また、ある先生は床に膝をついてトイレ掃除をしていました。私にはできないよさだと思いました。すごいですね。

ではさらに、他者の「がんばり」や「よさ」を認められる人になるにはどうしたらいいと思いますか。一緒に考えてみましょう。みなさんはこの人（御嶽海：上松町出身）を知っていますか？そう、お相撲さんです。御嶽海関は小学校1年生の時、隣村で開催された相撲大会に出場しましたが、自分よりも身体が小さい対戦相手に敗けてしまいました。これをきっかけに少年相撲クラブに入門し「大関になりたいという夢」をもち、実現させました。身体が小さい対戦相手に敗けたという「思いがけなさ」に出合ったことをきっかけに夢をもったのです。

【よさをみとめる】



次にこの人（油井亀美也：川上村出身）を知っていますか？そう、宇宙飛行士です。油井さんは10歳ぐらいのときに宇宙飛行士になりたいと思い、実際叶ったのは45歳のとき。35年間ずっと夢を叶えるために努力し「夢（好きなこと）っていうのは誰に言われるでもないと思います。

宇宙の勉強は、自分で本を買って続けることができた。好きなことを目標にすれば続けていけ

るのです。」と語っています。

さらにこの人（小平奈緒：茅野市出身）を知っていますか？そう、スケート選手です。子どもの時に抱いた夢や目標は、オリンピックで金メダルを取りたいという、「憧れや尊敬」がきっかけだったそうです。そして、中学、高校と色々な悩みを経験し、コーチや仲間に相談をしながら練習を続けていったそうです。小平選手が平昌五輪で金メダルを取った時、地元韓国の選手は銀メダルに終わりました。レース後小平選手は、韓国選手のところへ歩み寄り、肩を引き寄せながらお互いの健闘を称え合いました。夢に向かって努力している人は、その苦労やつらさが分かるのです。相手の気持ちが分かるのです。



では、この附属松本小学校に当てはめて考えてみましょう。3年東組の学級通信のタイトルは、「夢見るジャンプ」です。よく3東の人たちから「3東の夢に向かって・・・」という言葉を目にします。こうした、中核活動に夢中になっているクラスは「いじめ」や「差別」は起こりにくいと思います。先程述べたように、お互いのことが分かるから。附属小が中核活動を大切にしている理由の一つです。

どのクラスも夢中になっている活動があるので、この学校には「いじめ」や「差別」は起こりにくいと思いますが、もしそういった辛い思いをした場合お家の人、友だち、担任の先生にすぐに伝えてください。でも、担任の先生とか話しづらいなという人は、この張り紙のように、副校長先生、下郷教頭先生、保健室の金井先生、専科の先生がいつでも話を聞きますから、遠慮なく伝えてください。



最後に、いまこの場にいる子どもたちと先生方で確認したいことがあります。外から中が見えない倉庫部屋のような場所で、先生と子どもが二人だけにならないということです。そのようなことをする先生はこの附属小にはいないと信じていますが、何か話や指導があって先生に連れて行かれた時、外から見えない密室では、先生が興奮して子どもを叩いてしまったり、子どもの

体を触ったりすることを防ぐためです。万が一そのようなことがあったらすぐに教えてください。みんなが安心して過ごせる学校を創っていきましょう。「夢に向かって自分らしく生きている人は、人権を大切にできる人」これが、みなさんに伝えたかったことです。今日も私の話を聞いてくれてありがとう。

